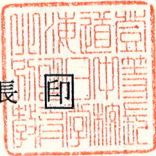


令和4年度学校評価報告書

令和5年3月30日

北海道教育委員会教育長 様

北海道登別明日中学校長



次のとおり令和4年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- (1)個性や能力の伸長に向けた、きめ細やかな学習指導の充実
- (2)生徒の多様化に対応し、健康・安全教育や教育相談活動の充実
- (3)地域と保護者との連携を重視した教育活動の充実
- (4)国際理解・グローバル教育、外国語教育などを通し、外国語（英語）による思考力・判断力・表現力の育成
- (5)6年間を見通した計画的な進路指導の充実
- (6)年齢の異なった生徒による相互交流とボランティア活動、自然体験活動、芸術鑑賞等、異年齢集団による活動や本物に触れる活動の重視

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	・今年度9回の校内研修を実施した。 ・年2回の授業評価を実施した。「主体的に学習に取り組む態度」「知識・技能」「思考・判断・表現」で90%以上の生徒が肯定的回答であった。	・「授業評価の内容および実施は、教職員の資質等を向上させるものであったか」では、教職員が生徒・保護者よりも低い結果であり、自己評価が厳しいのではないかと。意欲的な取組を行っていることについて、教職員が肯定的な捉えをすることも大切であり、生徒に良い影響を与えるのではないかと。
改善方策	○シラバスに加えて、単元配列表を活用し、探究的な学びを教科と関連付けるよう教員全体で研修を重ねていきたい。 ○ICT機器を活用する場面は先進的であるが、学校全体で効果的に活用するため、教員全体で研修を重ねていきたい。 ○国際理解教育や外国語活動、異年齢交流など、コロナ禍で制限されてきた活動について、通常通りの実施に戻していきたい。	
生徒指導	・生徒指導に係る組織的な対応については、過去3年間で一番良い数値であり、年次、生徒指導部、いじめ対策委員会の連携が組織的に行われた。	・いじめや学校不適応生徒への対処に留まらず、予防的な取組の実施に係る評価を上げる努力をして欲しい。
改善方策	○生徒会を中心に本校の特色である異学年間交流を充実させるなど、活発な学校行事の運営等により、学校全体としての明るく過ごしやすい雰囲気を醸成していく。 ○教員間での共通理解に基づく指導を行うために、生徒指導部がイニシアチブを発揮し、同歩調で組織的指導が行える体制づくりにより力を入れていく。	
進路指導	・保護者アンケートによる進路指導の満足度は高いが、「進路情報の提供」「進路について気軽に相談できる環境」の項目がやや低い。	・進路指導の満足度の高さは、生徒・保護者・教員の三位一体の努力の結果である。 ・本校で学んだ生徒が、大学生や社会人となり、その後どう変化しているのかを追跡して調べると、より良い人材育成につながるのではないかと。
	○生徒が目標を設定し、その実現方法を考え、目標達成への努力を主体的に貫けるよう、教職員・保護者の共通理解を深め、学校全体で一丸となって指導に当たる。	